

この現状は、良かれ悪しかれ永年かけて福知山全体が創り上げてきた歴史であるとも考えます。しかし、私としましてはこの厳しい時代を乗り切るために、ゆっくりとした改革の進行をまっている訳にはいきません。2期8年間で行った活動を「畑」で表現しますと、地ならし土づくり期間であり、これから本番だと考えます。理解ある多くの市民と一緒に、少々形は不揃いかもしれませんが、無農薬で安心安全な高品質の野菜の収穫が必要です。

福知山を本気で改革する理念を掲げ、「市長行政・議員・市民」の中にも理解ある方々は少なからずおられますし、この方たちと手を結び、決して「対立」の想いではなく「改革」の想いで市民主導型の新しい福知山づくりのために、市民改革派議員の多数派形成を目指します。

## 4年前の公約の検証

### 市民オンブズマン制度の確立

**検証**

後援会メンバーへの「ひろしニュース」での啓発にとどまり、公約の達成度は低く反省しております。今後はオンブズマン制度にこだわらず「情報公開条例」を活用し、多くの意識ある市民と連携し、荒川ひろしのホームページやニュースで必要な情報をタイムリーに提供したいと考えています。



### 「市民会議」の実現

**検証**

各部会を設置することはできませんでしたが、「福祉」に関しては市内外の関係者との連携は一定とれてきました。その成果として、BGMボランティア連絡協議会・どんまい・内田町ふれネット等の活動が発展したと考えます。「文化面」についても、市民まつり・ポンチフェスタ・福祉まつり・大正公民館まつり等の発表の機会や、厚生会館の改修や音響、照明の専門家の設置・青少年のダンス練習スペースの確保等が前進いたしました。

「教育」に関しては差別を許さない子ども育成協議会、CAPプロジェクトの推進や旭が丘自治会防犯パトロールに参加し、市全体の防犯体制の強化を主張しています！

私の考える住民組織「市民会議」とは・・・例えば福祉で言いますと、福祉の推進を望むスタッフが集まり、地域で発生している福祉の問題点を吸い上げる受け皿とし、行政制度や社会福祉協議会の制度・NPO法人やボランティアのサービスを把握し、市民ニーズに対応します。また、必用とするサービスが存在しない場合には、行政へは施策を提言。市民へはNPO法人等でのサービスの立ち上げをコーディネートし、きめの細かい福祉の街づくりを目指します。市民会議のメンバーには（市民・障がい者団体・福祉施設・民生委員・NPO法人・ボランティア団体・行政）等の関係者が個人的に関わっていただければ、優れた活動になると確信いたします。他の分野におきましても、福祉と同じような考え方で進めて行きたいと考えております。

### 「移送ボランティアの充実」

高齢者・障がい者の通院援助、社会参加の向上をめざし、現在BGMボランティア代表として活動をしています。この活動をさらに推進し、移送ボランティアシステムをさらに充実させていきます。

**検証**

平成12年7月にはBGM運転ボランティアからNPO法人「福知山BGM福祉サービス」となりました。利用会員・運転会員も増加し、月1回の「交流会」や年1回の「介助講習会」も実施しています。事務スタッフも9時～17時までをカバーし、現在6つの事業を実施中です。

